

肝炎コーディネーターからのお知らせ

肝炎、ウイルス性肝炎などは、感染症として、また慢性肝炎・肝硬変・肝がんなどは慢性疾患としてとらえる必要があります。最近では、NASH（非アルコール性脂肪肝炎）など生活習慣病に関わる疾患も増加しており、肝炎患者は、それぞれに様々な問題点を抱えることになります。

肝疾患が進行し肝硬変に至ると、さまざまな合併症により生活の質が低下したり肝がんを合併する危険が高くなります。

適切な治療を受けることにより肝疾患の進行を防止することが重要です。とくに、ウイルス性肝炎は、抗ウイルス薬による治療が進歩し、ウイルスを排除、もしくは持続的に抑制することが、ほぼ可能となっています。

このような肝疾患患者やその家族に対し、必要な情報提供、受診や受療の勧奨を行うのが肝炎コーディネーターです。

当院には21名の肝炎コーディネーターがおり（コメディカル）、肝炎ウイルス検査で陽性になった方への受診や継続的な受療とフォローアップを促進し、肝硬変、肝がんへの移行の予防を目的に活動しています。

肝炎コーディネーターの役割

- ① 未受診のため感染に気づいていない方への受検勧奨
- ② 感染したことを知っていても治療に至らない方への受診勧奨
- ③ 治療をこれから行う人（受療）や治療中断している方への治療の継続支援
- ④ 仕事を継続しながらの慢性肝炎、肝硬変、肝がんの治療支援
- ⑤ 他科での肝炎陽性患者に対する報告、紹介
- ⑥ 啓発ポスターの作成など肝炎への理解の普及、情報提供

肝炎について、お困りごとがあれば、私たちに声をかけてください。